

研究のご協力をお願い

札幌麻生脳神経外科では下記の臨床研究を行います。皆様におかれましては本研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますよう、お願いいたします。

なお、本研究への参加を希望されない場合、または本研究に関するお問い合わせは、お手数をかけますが、当院連絡先までご連絡ください。

1. 研究名：急性期脳卒中患者の下肢重度運動障害に対する対側制御型神経筋電気刺激の効果の検討—予備的研究—
2. 研究の対象
当院に入院された脳卒中患者 10 名
3. 研究期間
倫理委員会承認後～2024 年 9 月 30 日
4. 研究目的
急性期脳卒中患者の下肢重度運動障害に対して従来の神経筋電気刺激よりも対側制御型神経筋電気刺激が有用か予備的に検証することを目的とする。
5. 研究方法
研究デザインは予備的準無作為化対照試験を用いる。対象者を、神経筋電気刺激を実施する Neuromuscular electrical stimulation(以下、NMES)群、対側制御型神経筋電気刺激を実施する Contraterally controlled neuromuscular electrical stimulation(以下、CCNMES)群に交互に割り付ける。介入は NMES 群では ESPURGE(伊藤超短波社製)、CCNMES 群では IVES(OG 技研社製)を使用し、1 セッション 15 分間とし、週 5 日、3 週間実施する。介入時、介入終了時(3 週間後)に下肢運動機能、バランス能力、歩行能力を評価し、治療効果を検証する。
6. 研究に用いる試料・情報の種類
年齢・性別・診断名・合併症(既往歴)・発症形式・発症年月日・入院年月日・治療内容・入院時臨床経過・退院年月日・退院時所見・理学療法評価・歩行動画等
7. 外部への試料・情報の提供
研究データは研究責任者が保管・管理し、外部に提供することはありません。本研究

で得られた情報を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含まないようにする。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

当院連絡先：

札幌麻生脳神経外科病院 脳神経外科

住所 札幌市東区北 22 条東 1 丁目 1 - 4 0

電話 0 1 1 - 7 3 1 - 2 3 2 1